

# フォトニュース



## 注目選手が好記録をマーク!

5月16~17日、熊谷スポーツ文化公園陸上競技場にて、関東学生対校陸上競技選手権が行われました。注目の100メートルでは、東洋大の桐生選手や大東文化大の土井選手が、好記録で優勝しました。



## 今年も元気に開催!

5月18日、籠原駅南口周辺で第3回かごはら元気まつりが開催されました。当日は、絶好の天気に恵まれ、汗ばむほどの陽気の中、ステージ上のイベントやフリーマーケットなど、たくさん的人が楽しみました。



## 会話に花咲くあおぞら市

6月8日、星川お祭広場で星川あおぞら市が開催されました。あいにくの雨でしたが、今回は、大抽選会やスイカの試食もあり、来場者は出店者達との会話を楽しみながら新鮮な野菜を選んでいました。



## 問屋町祭りに1万2千人

5月11日、問屋町において「熊谷流通センター問屋町祭り2014」が開催されました。当日は、商品の販売をはじめ様々な展示やアトラクションが行われ、晴天の中、多くの人が賑わいました。



## まだ使えるものが、魅力的な商品に

5月24日、環境美化センターにてリサイクルフェアが行われました。家具・自転車・本・ジーンズなどのリサイクル品の中から、お気に入りの一品を探そうと、大勢の方で賑わいました。



## 株式会社まちづくり熊谷が設立されました

6月2日、初の総会が開催されました。まちづくり熊谷は、まちで活動する方々をネットワークでつなぎ、未利用資源の活用を進め、皆様から信頼される“まちづくり会社”としてまちづくりを先導します。



## 雨の中でLet's Try

6月7日、8日、15日に熊谷スポーツ文化公園 熊谷ラグビー場で「第65回関東中学校ラグビーフットボール大会」が開催されました。雨の降りしきる悪コンディションでしたが、選手達は全力でトライを目指していました。



## 今年のベストフードグルメは…

5月25日、熊谷スポーツ文化公園で第4回B級グルメ大会が開催されました。各店舗には長い列ができ、投票により今年のくまが屋・オブ・ザ・イヤーは、鳥末本店の「ピリ辛ハーフチキン」に決定しました。



## 招致活動一層強化へ

6月10日、埼玉県と熊谷市および関係団体による「埼玉県ラグビーワールドカップ2019招致委員会」が設立されました。県営熊谷ラグビー場における試合を目指します。



## 静寂な場所でパチリッ!

5月31日、6月1日に妻沼中央公民館で「第1回熊谷めぬま縁結び囲碁大会」が開催されました。本大会は、2012年5月に本因坊戦が妻沼聖天山観喜院での開催を記念したもので、参加者達は日々の鍛錬の成果を発揮していました。

## おたよりパレット

### テー・マ 私の夏バテ対策

今年もまた、暑い熊谷の夏がやってきました。少しでもクールに過ごすために、皆さんが出た暑さ対策をぜひ、実践してみましょう。おたよりパレットは、市ホームページ <http://www.city.kumagaya.lg.jp/> でも、更に詳しく紹介しています。

市報クイズ5月号で寄せられたご意見を紹介します。

- チゲやマーボー豆腐など、唐辛子が入った熱くてピリ辛の料理を汗をかきながら食べて、暑い夏を乗り切っています。(20代・女性)
- 日傘、冷却スカーフ、水分補給(お茶の入った水筒を持ち歩く)を心がけています。電車で都内に通っていますが、熊谷駅に着いて電車を降りるとモワ～っと暑い空気を感じます。やっぱり熊谷の夏は暑いなと思います。(20代・女性)
- 夜更かしなどしないで、早寝早起きを心掛けて、朝の涼しい内に30分程度の散歩をすることです。(70代・男性)
- 毎年ゴーヤを色々な料理で食べているのが夏バテ対策になっているようです。今 年は熊谷エコライフフェアで頂いたゴーヤ苗で、初の自家製ゴーヤ作りに挑戦です!(50代・男性)

今月のテーマ、「食欲の秋」のおすすめメニュー」にいたいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

### 応募方法

ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「食欲の秋」のおすすめメニュー」のコメントを必ず記入し、7月22日(火)までにご応募ください(一人につき一通)。※コメントがないものは無効となります。

《応募先》〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課

✉ kohokocho@city.kumagaya.lg.jp

※なお、市内の商店・企業を知っていただこうという趣旨で、当選者にはプレゼント引換券をお送りしますので、お店でご利用ください。当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

5月号の正解 ①バリアフリー ②エコライフ ◆応募総数36通中、正解31通

### 読んで当てよう 市報 クイズ



市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業等を募集しています。詳しくは、広報広聴課内線212までお問合せください。

市報くまがや 平成26年(2014)7月



## 「歌に思いをのせて」

ミュージシャン

谷介さん(本石)

※アーティスト名

岩手県で生まれ、大学生の時に熊谷に来ました。昔から歴史が好きで、何気なく立ち寄った市立図書館で「熊谷次郎直実」のことを知りました。家紋をみた瞬間、「あ、家の家紋と同じだ!」と驚きました。図書館の方から、熊谷次郎直実の子孫が自分の故郷の近くに移り住んだことを聞き、自分は直実の子孫かもしれない!と思いました。日本一の剛の者と言われた直実。自分も、強さと優しさをもつ人間になりました。日本一の剛の者と

岩手県で生まれ、大学生の時に熊谷に来ました。昔から歴史が好きで、何気なく立ち寄った市立図書館で「熊谷次郎直実」のことを知りました。家紋をみた瞬間、「あ、家の家紋と同じだ!」と驚きました。図書館の方から、熊谷次郎直実の子孫が自分の故郷の近くに移り住んだことを聞き、自分は直実の子孫かもしれない!と思いました。日本一の剛の者と

## 熊谷との深い縁

## 夢追い人

情熱世代

音楽  
挑戦

32

小学5年生の時に、独唱コンクールで学校代表に選ばれました。皆から褒められ、得意なことが見つけられた気がして、ほんやりとですが、歌手の夢を抱きました。高校でギターを始め、すぐ見よう見まねで作曲を始めました。19歳の時には、熊谷で路上ライブを始め、1日8時間演奏するなど、音楽漬けの毎日を過ごしました。ここで知り合ったミュージシャン達は、今でも大切な仲間です。

音楽を続けていく中で、やり続けることが一番大変です。チャレンジの繰り返しです。自分の体験を掘り下げて曲にしていく。楽しくも時に苦しい作業です。自分には才能がない、もうやめよう、と波の様に恐怖が襲ってくることもあります。そんな時、本当に良いタイミングでファンの方たちは暖かい声が届きます。今があるのは、ファンのおかげですね。

これからも、聞いてくれる人がいる限り歌い続けたいと思っていますので応援よろしくお願いします。

行きましたが、何も考えませんでした。言葉も涙も出ない。虚無感に襲われました。あれから3年が経過し、自分の中でもやつと向き合うことができ始めたと感じています。そして、自分にできることは、曲に思いをのせること。今回、その故郷への思いを「陸前高田」という曲に綴りました。



ライブで演奏する谷介さん(中央)

元荒川ムサシトミヨ生息地  
—世界に一つだけの奇跡— 久下・佐谷田

## 来て!見て!知って!文化財

世界で熊谷の元荒川上流域だけに生き残ったムサシトミヨは、トゲウオ目トゲウオ科トミヨ属の淡水魚で、成魚の体長は約5cmです。平成3年、この源流部の約400メートルが「元荒川ムサシトミヨ生息地」として県の天然記念物に指定されました。ムサシトミヨは環境省レッドリストでは絶滅危惧IA類(CR)に指定され、絶滅が危惧されている種別です。15℃前後の清涼な湧水と、水草が適度に繁茂した環境が必須であると考えられています。一年魚で、成魚となつた雄が水草等で直径3cm程の球形の巣を作り、子育てをするという珍しい特徴を有しています。

なぜ、ムサシトミヨが熊谷だけに生き残ったのでしょうか。昭和30年代後半、湧水が枯渇し関東各地のムサシトミヨの生息地が急激に減少していきました。そのような状況

下、元荒川の源流部にあった県の水産試験場や民間の養鱒場が試験研究や養殖のために地下水を絶えず汲み上げていたことから、水の供給が止まることなく、生息環境が維持されたのです。

現在、天然記念物となっている区間は、行政と熊谷市ムサシトミヨをまもる会など地域の住民が協力しながら、環境保全が行われています。平成25年12月にはムサシトミヨをまもる会の活動が公益社団法人日本ユネスコ協会連盟から評価され、プロジェクト未来遺産運動に登録されました。

◆江南文化センター 国048-536-5062



## 人口と世帯 平成26年6月1日現在(対前月比)

■人口 202,534人(-9) 男 101,362人(+13) 女 101,172人(-22) ■世帯 83,946(+62)

「市報くまがや」7月号は、72,400部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり15円です。  
「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。